

令和7年度 自己評価

I 「保育の計画性」についての検証及び改善策

幼稚園教育要領の精神をふまえ、園の教育理念・教育方針にしたがい教育課程を編成することができている。各職員が園の教育課程を理解し、教職員間で話し合いをしながら計画を経て、実行・反省することができている。また、安全で清潔感のある環境構成を心掛け、園児の動線や目線に配慮した環境を構成できている。

II 「保育への在り方、幼児への対応」についての検証及び改善策

朝の登園時や保育中の視診を大切にし、園児の体調の変化にいち早く気付けるよう教職員が心掛け、早めに対応できていた為、園児の体調が悪化する前に保護者へ連絡することができていた。また事故やケガが発生した場合にも迅速に適切な対処ができていた為教職員全体の評価も高い。引き続き不適切保育に当たるような禁止や命令、行動を急がせるような態度を控え、褒めたり励ます言動を増やすよう教職員間でも注意しあっていきたい。

III 「保育者としての資質や能力・良識・適正」についての検証及び改善策

教職員全員でひとつのチームであることを意識し、職員会議やミーティングに参加が出来ない教職員へもチャットやスプレッドシート等を活用し、情報共有を行うことができていた。朝と帰りの挨拶は園児、保護者、教職員、近隣住民に分け隔てなく、親しみを込めて行う事ができている。引き続き自らの健康や身だしなみにも気を付け、お互いに注意・確認し合うようにしていく。

IV 「保護者への対応」についての検証及び改善策

学年便りやホームページの他にインスタグラム等も活用し園での園児の様子をタイムリーに保護者へ伝えることができるようになってきている。送迎時に直接様子を伝えたり、電話や連絡帳、手紙等で園で様子を伝える努力もしている為各教職員の評価も高い。保護者からの要望やクレームはすぐに対応し、教職員間で話し合い情報共有までできている。

V 「地域の自然や社会との関わり」についての検証結果及び改善策

地域の他園や小学校との交流に積極的に参加することができていた。園内では引き続き園庭開放やイベント、未就園児お誕生日会を通して未就園児親子への情報提供や子育て相談にのることができている。また、毎月の入園案内説明会以外にも保護者の要望に合わせて説明会を行うことができていた。担当する職員が限られている為今後は対応できる職員を増やしていきたい。

VI 「研修と研究」についての検証結果及び改善策

今年度も各自でオンライン研修を受け、個人の知識や技術の向上を図ることができた。また、リーダーを中心に他園の公開保育に参加し、園での保育に活かす経験を積むことができた。今後は他の職員も積極的に参加できるようにしていきたい。